

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・宿泊人数は3か月前比で120%、前年同月比で107% である。総売上は3か月前比で133%、前年同月比で 136%と大幅に増えている。特にバンケット部門が前 年同月比140%で大きく貢献している。レストラン部 門でも前年同月比110%で消費の活性化を感じる。
	やや良く なっている	コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・近隣でマンションの工事が行われているので、来客 数が増えている。
		コンビニ（エリ ア担当）	お客様の様子	・各イベント等の状況を見ると、極端に消費を抑えて いるような動きではない。
		観光型ホテル （マーケティング 担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ、若干ではあるが稼働率は前年実績 との差が縮まってきている。まだまだ前年実績には追 い付かないものの、今月は台風の影響も無く大きく前 年を下回ることは無かった。
		旅行代理店（代 表取締役）	販売量の動き	・沖縄でのインターハイ開催により、今年夏の観光業 界は景気が良い。インターハイ終了後から秋にかけて の一般客の旅行問い合わせや申込、見積依頼も多く なっている。
	変わらない	その他のサービ ス〔レンタ カー〕（営業担 当）	来客数の動き	・7月は、インターハイが開催されることもあり、選 手や応援団のレンタカーの利用が増えている。また、 観光客のレンタカー利用も前年に比べて増加してい るが、稼働単価が下落傾向にあり、売上増にはつな がっていない。
		百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・5月に新ブランドを開設した効果が現れて婦人ヤン グのフロアで動向が上向いていたり、高級雑貨で高単 価な商品が動いて伸長したりするなど、部門によっ ては改善が見られる。しかし、いまだ改善が見られ ない部門もあり、全館合計での売上高前年比の水 準は3か月前と比較して大きな変化は無い。
		スーパー（販売 企画担当）	競争相手の様子	・競合他社も厳しいと推測され、チラシに載せる特 売価格を一段と安くしている。
		コンビニ（エリ ア担当）	単価の動き	・アイスクリームについては単価の低い商品の構成 が高くなり、前年に比べ売上高は3%低い。単価減 少傾向はドリンクなどでも同様に見られる。単価が 下がっても商品の回転は変わらない。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・部門によって、前年並みを維持か、または微増 である。採算の悪いところを整理・縮小したこと で、在庫の充実が図れている。また、沖縄での インターハイによって観光客の増加となり、観 光産業に頼っている県内に少し明るい材料とな っている。夏のイベントも多いので今年こそは 期待できるかもしれない。
その他専門店 〔書籍〕（店 長）		来客数の動き	・売上については2007、2008年の7月と比べると 約5%の落ち込みだが、前年比では105%とほん の少し回復傾向が見られている。しかし、来客 数に着目すると、前年より7%落ちている。や はり小売業では沢山の人に来てもらわなければ 売上の安定は望めない。ここ3か月の来客数の 推移を見ても特に変動が見られないため、景 気の状態は今のところ変わらない。	
通信会社（店 長）		販売量の動き	・販売数の落ち込みが同水準で続いており、回 復する気配がない。新しく購入するよりも現 在使用中の物を修理し、できるだけ長く使 おうという傾向が見られ、販売数が上がら なくなっている。	
観光名所（職 員）		来客数の動き	・施設利用者数が、前年同月比で9割台である。 3か月前の4月も前年同月比で9割台である。 沖縄観光は、回復というよりは下げ止まりの 状況にある。売上も、前年同月比で減少し、 厳しい状況である。来園者は家族連れ等が 中心である。	
やや悪く なっている	ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・来客数の増減等の大きな変動は無い。依然 として低単価による集客が続く。	
	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・季節変動で来客数は増加しているが、前年 比では15%ほど落ちている。地元客の平日 の来客が全然取れない。観光客は例年並み であるが、飲食単価は前年より300円ほど 落ちている。	
悪く なっている				

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	通信業（営業担 当）	取引先の様子	・同業の取引先から、案件の話を耳にすることが増え た。
	変わらない	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・公共工事は前年比で減少し、民間工事は依然大型物 件が少なく製品出荷は横ばい状態である。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・受注量が3か月前と比べて横ばい状態である。
		輸送業（営業担 当）	取引先の様子	・観光産業関係は国内外の来県者数が増えていること で上向きと見られるが、スーパー、大型量販店、コン ビニ等は、依然厳しい値下げ合戦が続いており回復の 兆しが見えていない。また建築関連も公共工事の減少 が続いており、同様な状況と見える。
		輸送業（代表 者）	受注量や販売量 の動き	・特に宮古地区は季節的な落ち込みも少なく、先々の 物件話もあり活況が感じられる。
	やや悪く なっている	会計事務所（所 長）	競争相手の様子	・食品や雑貨などの小売業では、業界全体の低価格志 向が定着しており、客単価の上昇は難しい。
悪く なっている	コピーサービス 業（営業担当）	受注量や販売量 の動き	・前年より受注量が明らかに減少している。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	求人情報誌製作 会社（総務担 当）	求人数の動き	・4月ごろから求人件数が前年比で微増傾向になり、 5～7月も引き続き増加傾向にある。
		求人情報誌製作 会社（営業担 当）	求人数の動き	・少しずつではあるが、アルバイトや正社員の採用が 増えている。また、3か月前に比べて求人広告の有料 プランを選択する企業が増えている。
	変わらない	職業安定所（職 員）	採用者数の動き	・新規求職者の増加に伴い、就職者も前年同月比で 9.6%増加しており、前月を含め漸次増加傾向にあ る。
	やや悪く なっている	-	-	-
悪く なっている	-	-	-	